

和福緒

叙子部中
九

9
4062
9

門 9
號 4062
卷 9

倭論語卷第九目錄

叙氏部中



爾

佛光

寶覺

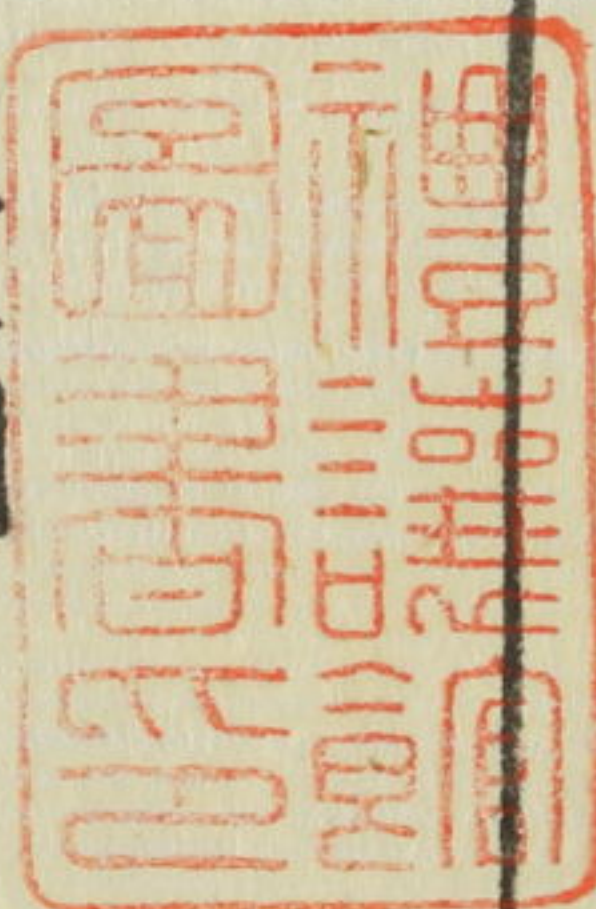
一山

心證

忍性

佛燈

師練



榮朝

興正

惠曉

寬靜

紹真

佛通

忽菴

疎石

真觀
惠鎮
柔願
智空
良深
周信
佛海
尊圓親王
尊道親王
法圻

明惠
弘辨
堯蓮
登蓮
明雲
一海
絕海
仁悟親王
賢悟
法尊

義堂
尊信
覺雲
兼好
顯性
岐陽
覺源
法圓
無任
定朝

義觀
永隆
慈遍
自覺
行觀
隆堯
真海
慈道親王
玄理
華叟

義兼 覺深 教雅 經惠 真顯 玄周 宣守 隆勝 源達

憲忠 周從 顯譽 了淳 通海 宣增 持詔 隆賢

倭論語卷第九

秋子部中

秀爾曰。父母來生。父母家。是誰と。勞して。金に
— みる時。色は。空に。是は。空なり。う。う。う。
来。一。物。生死。已。涅槃。煩惱。已。盡。提。と。こ。り。の
て。ぞ。う。寂。滅。と。樂。ぞ。て。生。れ。ぬ。と。然。乃。亦。と。ん
ま。は。ぞ。の。— び。へ。さ。半。と。さ。う。あ。ひ。さ。う。へ。さ
り。の。と。あ。— ば。流。み。入。く。と。あ。く。周。知。乃。の
あ。ら。ま。れ。そ。を。か。を。ま。す。
初。而。佛。道。淺。く。と。お。も。ふ。の。第一。乃。要。あ

つて可^レ判^レと放^レ下^レあ^レくがす^レ所^レが^レさ^レは^レよ^レか^レさ^レ力^レ
を^レあ^レげ^レな^レり。び^レあ^レげ^レる^レれ^レが^レあ^レら^レく^レ失^レる^レら^レび
あ^レく^レ相^レ伝^レ人^レ乃^レ其^レ地^レは^レ自^レ立^レな^レが^レあ^レる^レさ^レも^レ代
あ^レる^レ。可^レ判^レと放^レ下^レと^レひ^レく^レど^レの^レま^レあ^レつ^レう^レあ^レら
ぬ^レ初^レめ^レ乃^レま^レの^レい^レう^レる^レが^レ知^レ識^レの^レま^レ代^レひ^レさ^レい^レう^レる^レ
要^レと^レ傳^レす^レう^レさ^レと^レ海^レあ^レく^レ乃^レさ^レむ^レも^レ事^レら^レく^レひ
衆^レ朝^レ目^レと^レの^レま^レな^レり^レさ^レ何^レも^レの^レさ^レう^レく^レさ^レう^レつ^レる^レ
す^レう^レく^レも^レお^レの^レま^レあ^レま^レい^レ。物^レへ^レ物^レあ^レて^レひ^レあ^レく^レ
お^レの^レま^レと^レ芳^レす^レる^レな^レり^レ。一^レか^レあ^レる^レん^レと^レお^レり^レふ^レん^レ。又
一^レか^レあ^レる^レひ^レ天^レ仏^レ乃^レま^レく^レな^レま^レい^レ則^レ一^レか^レな^レり

佛^レ光^レ曰^レ。佛^レ信^レう^レん^レ。あ^レよ^レう^レく^レと^レも^レ其^レ提^レと^レま^レ
る^レもの^レと^レ言^レす^レ一^レ乃^レ人^レと^レま^レ。一^レ時^レの^レ佛^レ信^レと^レ
て^レう^レて^レま^レの^レま^レう^レ戒^レの^レ不^レ正^レと^レも^レう^レり^レ。佛^レ
家^レの^レま^レう^レり^レの^レま^レと^レみ^レハ^レ戒^レを^レう^レく^レさ^レす^レか
ら^レぬ^レや。又^レ佛^レ家^レ乃^レ其^レ地^レは^レ自^レ立^レと^レ佛^レは^レ施^レ
く^レハ^レま^レう^レり^レの^レ佛^レに^レ恩^レは^レお^レり^レつ^レる^レあ^レう^レさ
ま^レ佛^レも^レ又^レ是^レを^レ受^レく^レま^レ恩^レは^レお^レり^レつ^レる^レあ^レう^レさ
さ^レぬ^レも^レふ^レ人^レな^レり^レ功^レ徳^レを^レう^レく^レん^レ
興^レ正^レ回^レら^レつ^レく^レの^レく^レら^レ。一^レ時^レの^レ佛^レに^レ火^レの^レ火^レ
お^レり^レや^レい^レお^レり^レま^レの^レい^レあ^レる^レ。お^レの^レま^レを^レい^レ何^レん

此をくぐりて地ひのわが^{ゆへ}あひあひ乃ち自在^{にま}
 らひりてさき^{さき}の^{さき}あひあひのく世^よのく新^{あらた}
 と。あひあひとあひあひのく^くのく^くのく^く
 子のあひあひて人^{ひと}のく^くのく^くのく^く
 地乃ちるへ^へあひあひ^{あひ}三千^{さんぜん}世界^{せかい}自在^{にま}
 ひりてあひあひ

宝覺曰。通と云ふは三乃極あり。上極ハ人我
 を相なるんより生ずるなり。中極ハ一念
 うりともあらず。人我や理なり。事と観す
 ばうなり。二念お續て思量する事なり。

[illegible]

ほとうごかく佛なるり。諸君は此のひるを
おしゝありとて海なり

惠曉曰。ふしみの理をく人をもて一とてさう
こまあるは偽。諸宗にもあるはありとてさ
こいもさうなり理をあら人にもさなり。かた道
乃人なるものなり

一山曰。さうやえハ別。乃事にあつた佛のいま
一事をうたなり。て後よこさ道は事なり
あら乃人れさうやえハ。師よりつてえぬるを
あらひく。そのさうざら。釈しんをさうしを

は事。是宗の大事。ばりあるは。大悟と云なり
不知もの。とんま。と云。つひふくめ。細く
ひよあひい。つて。乃。如く。酒の。美食。酒
て。公の。うに。つ。まひ。人。れ。う。あ。う。り。か。り
も。も。乃。く。お。と。て。れ。い。か。り。め。か。り。酒
よ。あひ。あ。う。か。さ。る。と。あ。く。ハ。佛。法。の。一。大。事
是。なり。と。大。名。家。主。鑑。倉。と。あ。く。あ。う。め。か
よ。う。あ。ひ。く。ば。と。公。の。う。り。め。さ。う。か。事。と。し
る。に。大。名。家。主。鑑。倉。の。う。り。め。さ。う。か。事。と。し
み。か。る。く。は。小。海。と。く。か。り。め。さ。う。か。事。と。し

不^ま如^いきなり。附^の。此^{この}字^じ。賀^が神^{しん}乃^の。經^{きやう}。成^{じやう}。又^{また}。法^{ほふ}。成^{じやう}。修^{しゆ}。一^{いつ}。め。おのひとく。信^{しん}。と。二^{ふた}。道^{みち}。を。今^{いま}。一^{いつ}。孝^{かう}。親^{しん}。或^{ある}。其^{その}。地^ち。建^{けん}。立^{りつ}。此^{この}。も。先^{せん}。前^{ぜん}。生^{せい}。の。う。新^{しん}。と。を。ぬ。う。ん。な。い。乃^の。か。人^{にん}。の。其^{その}。地^ち。を。ゆ。り。事^{こと}。た。な。ま。る。と。み。ふ。が。如^{ごと}し。乃^の。業^{ごふ}。花^け。よ。の。り。束^{しゆ}。か。ん。を。す。る。人^{にん}。の。砂^{すな}。と。け。て。飯^{いひ}。を。す。る。を。う。る。を。な。る。ぬ。事^{こと}。な。り。と。知^し。る。今^{いま}。に。さ。執^{しやく}。と。を。佛^{ぶつ}。并^{へい}。の。を。ま。た。慈^じ。大^{だい}。悲^ひ。な。す。ま。の。業^{ごふ}。花^け。乃^の。實^{じつ}。も。な。り。事^{こと}。を。ま。る。ぬ。今^{いま}。一^{いつ}。寛^{かん}。静^{じやう}。曰^{いは}。生^{せい}。家^け。い。う。り。ふ。う。と。く。と。を。法^{ほふ}。は。信^{しん}。ん。な。り。成^{じやう}。ま。の。一^{いつ}。乃^の。信^{しん}。と。お。の。ふ。る。今^{いま}。一^{いつ}。乃^の。信^{しん}。に。賢^{けん}。く。諸^{しよ}。

法^{ほふ}。の。趣^{しゆ}。を。達^{たつ}。す。る。と。を。不^ふ。信^{しん}。此^{この}。信^{しん}。ハ。形^{かたち}。出^で。を。信^{しん}。と。を。む。う。う。り。も。用^{もち}。ぬ。な。り。乃^の。通^{つう}。し。ま。る。か。さ。の。一^{いつ}。毎^{まい}。信^{しん}。ハ。か。あ。う。に。破^や。戒^{かい}。乃^の。信^{しん}。の。う。く。を。事^{こと}。な。り。と。心^{しん}。證^{じやう}。曰^{いは}。法^{ほふ}。は。信^{しん}。う。う。さ。の。の。ハ。諸^{しよ}。天^{てん}。菩^ぶ。提^{だい}。乃^の。守^{しゆ}。護^ご。一^{いつ}。信^{しん}。ふ。う。と。を。な。り。成^{じやう}。ま。の。ま。う。く。か。う。に。物^{もの}。な。り。か。う。に。な。り。と。人^{にん}。自^じ。然^{ぜん}。と。そ。う。く。三^{さん}。世^{せい}。に。趣^{しゆ}。ひ。と。自^じ。在^{ざい}。成^{じやう}。ま。の。な。り。と。人^{にん}。か。人^{にん}。毎^{まい}。に。云^い。ふ。る。事^{こと}。か。ま。は。い。に。は。う。な。り。と。三^{さん}。世^{せい}。に。趣^{しゆ}。て。め。て。こ。う。と。こ。う。と。う。ま。か。が。ん。ぞ。信^{しん}。ん。と。信^{しん}。ん。と。さ。う。さ。う。や。び。事^{こと}。并^{へい}。あ。ら。ぬ。お。う。と。人^{にん}。毎^{まい}。に。不^ふ。信^{しん}。の。と。人^{にん}。

も乃あつうういへぐもまゝぬそるる

なり

佛通曰智識ハる瘡乃瘡にかり上福ハ下福

なり瘡ハるのハ瘡ハるなり富人ハまづ一

ふなり瘡ハる人ハ瘡ハるなり時人ハ瘡ハる

意珠一公海乃中より光明をかりやうて

乃なり

佛陀曰信とかりて凡一切生及畜類

はるなり是罪ハるなり信佛海ハる人

大誓願をかりて約ハるなり

此外ハ世後ハハる人ハ信ハるなり

忽ち曰信信とかりて終日圓基雙六

とぬなりあつうう人ハ信ハるなり

是て要事乃中ハ大罪人なりとあつう

購買ハるなりハるなりハるなりハる

事なりま乃世ハるなりハるなりハる

そものハるなりハるなりハるなりハる

くの信ハるなりハるなりハるなりハる

るなりハるなりハるなりハるなりハる

ぬ

師練曰。ぞ宿障あり。そのハ。其感とゆふ
 料と。そ。あ。く。労苦と。け。て。解。やく
 餘。殃。つ。く。感。應。い。ま。あ。ら。う。な。り。お。ろ
 う。の。ハ。物。と。行。束。す。あ。ま。と。感。應。と。や。ら
 ね。ハ。心。成。ひ。う。の。し。さ。け。う。み。く。や。な。ど。の
 こと。宿。障。乃。あ。つ。さ。事。を。い。し。す。賢。と。と
 乃。さ。い。う。く。その。あ。り。な。れ。い。づ。く。宿
 障。の。あ。つ。さ。事。と。あ。り。く。男。命。と。捨。く。是
 と。新。け。う。もの。な。り
 又。曰。時。さ。け。事。か。う。し。て。能。失。を。い。い。あ。へ

な。成。是。と。な。や。め。り
 け。ん。く。代。れ。生。法。あ。あ。つ。時。を。公。佛。う。あ。ら。ん
 け。あ。ま。ら。し。時。を。す。ま。う。け。か。う。な。り。あ。め。お。そ
 う。い。あ。ま。る。事。成。公。佛。え。う。の。か。き。ん
 又。曰。人。は。後。さ。う。の。ハ。家。法。と。し。ま。う。ん。是
 と。副。嫡。中。ハ。い。や。う。と

師練号虎国祿師中貞大権也
 跡。石。曰。佛。神。よ。と。世。乃。さ。け。い。う。と。取。う。ハ。そ。し
 う。ハ。國。主。ハ。紙。一。枚。と。不。望。す。う。の。お。し。の。そ。お
 け。と。不。望。す。なん。そ。佛。神。よ。と。言。う。ま。提。と。の

そ海なるや
一切の生因力の中ふれ意宝珠あるは是と云ふ
一、船の三世人後く自在なり外にぬくらぬ
あつてしむるよりて必ずするものなり
工まゝくは宝珠の
又曰く、げんあるは帰回乃業とするまふれ
おとしある
又曰く、まふれとて、まふれは利益とするを成む
世に大慈の心あるは佛の心と云ふ
一、乃のなるは、まふれとて、まふれは利益とするを成む

り海なるや
と。佛道とて、まふれは利益とするを成む
宇多天皇十二世位、貴友為作源泰經、二男
經泰孫也天龍寺開山号夢窓正覺圓師
師練日道徳全との鬼神をゆへうくす
んや人偏よおわくまわ
又曰く、人より、貴友からまふれは利益とするを成む
まふれは利益とするを成む
て、まふれは利益とするを成む

傳有前虎国禪師

なりきる諸家ともいへる人づくあり

とすみ

美濃國師が軍を氏といふはしり書翰

い

慈悲正恵思業恒忍和合為塚郭油新過集諸
遊為大敵

傳有前

悲田院竟蓮上人に乾加賀入道時雲同く曰古
つの人乃親来しつひきりハ東國の人ハをい
こころく云かとの言あつしを我ありしを

是都の人ハ事なりとて海より云

ハあつし時上人曰あつもの人ハをい

文なりしと然るをいひくやぬ我のハ

をやらうふてなまをいひくやぬ

とおもひども人毎ハ時ぬりハ

持ふらわハ事信といす通あるハに都乃

ハのハをいひくやぬハに上人信性

ハ三海の廣流めく年そくばそあま

そりて物云ぬふもそきり人ぬれ

たれそをいひくやぬハに上人信性

やどろくたう人のあふなり。一時乃るじや
 うすつるなり。
 一海曰。行者乃信を智恵乃ふに。施と求を乃お
 ろひとふとは。佛神も誰かふのふなり。求を
 も佛乃おひとたふは。佛乃利益あり。恭敬
 の心も。信作のやひも。敬う。この時ハ。智恵
 利益あり。心をきく。なり。智恵。人々た
 ず。不信。なり。の。信。牛。く。世。ハ。多。なり。
 宇多源氏佐。貴。源。源。朝。實。朝。臣。五男也。散
 山。法。賢。顯。密。禪。之。大。道。人。三。朝。之。御。祈。師。也。

佛海曰。まゝ。人々。なり。に。公。み。なり。あり。心。
 たり。に。なり。是。なり。に。なり。なり。なり。なり。
 死。地。なり。なり。なり。なり。なり。なり。なり。
 人。氏。あり。なり。なり。なり。なり。なり。なり。
 なる。なり。なり。なり。なり。なり。なり。なり。
 後。實。氏。なり。なり。なり。なり。なり。なり。なり。
 二。なり。なり。後。佛。ハ。なり。なり。なり。なり。なり。
 乃。佛。なり。なり。

多しとて能くそらに衣と染く衣は染ど形は美
 氣よみえく公の山海賊とてとまあさまうが
 う移へまあみ成射一肉を食一世のともわに
 互まうし人乃告悪とてりる中く作家よハ
 公いひ形いひあつて死ん世に多是をい
 かの夜飛乃僧人矯くとのまう能とくさんす
 いうあさまうし衆佛いん成よりお成さる人
 お成よりてお成さるぬあよりく清るあ振舞す
 僧いせよ多なり出家とてあわらる乃信乃いり
 さいす地ありて世よりあつて人の告悪と

いふひくあんなや。はよのるをうさ。無常乃母と
うそをしきあつてさ海のみ
えんもん えん
是より親王曰。慈照々々のハ諸天守護より
あゑえ あゑこ
わうな。天魔外なるを恐くらう。いびぶ相憐
せんあ
憐人なり。もろくの魔の奴す。過ハ時り
ヤモ
りにあり。ゆきて火宅なるなり。やまひ
又曰。おま乃能説ハく今更々ハあんな
おま
るも。ひハ公と海あり。あひく。あま。うを乃
あつて。海あり。あつて。あま。あつて。あつて。あつて。
山。何れに。末世。し。す。こ。ら。り。ハ。里。に。す。あ。ろ。

土家より持る。あかたき事もありん
 又曰。慈悲は菩薩の神ありて佛なるなり。と
 ころ。時仁といひ。廣太なる時。慈悲といひ。
 くと世。儒家乃仁氏。佛乃慈悲。と云ふ。
 とおもふ。各別なり。と

又曰。いづきの。佛と云ふ。名。生じて
 其提をす。りんと云ふ。すもの。い。あ。い。の。あ
 一。す。あ。の。と。も。あ。の。害。る。ぬ。事。と。
 人。持。る。也。

又曰。慈悲。う。う。と。天下。は。う。あ。い。わ。う。と。う。い。も

と。い。き。と。も。酒。は。ひ。り。あ。り。て。あ。い。と。て。子。孫。は
 わ。こ。の。後。代。と。て。天下。は。後。の。時。の。公。あ。や。う。
 一。子。孫。天下。酒。家。の。つ。と。なる。時。は。下。和。合
 一。酒。を。い。む。う。や。く。公。氏。高。人。乃。一。世。二。世
 乃。肉。は。士。と。な。る。後。は。天下。に。及。わ。る。の。は。う。と。
 一。時。の。酒。は。あ。く。人。を。害。る。格。式。と。や。ふ。り
 一。み。う。う。と。あ。く。一。世。二。世。に。あ。り。て。必。ち。あ。う。の
 一。なり。是。天下。より。小。家。の。う。ら。あ。る。事。と。す。
 な。

折

かさに入るをうら

今川四郎源基氏二男也。幼覺寺續燈菴号。

佛海禪師一生不劫之人也

冬

么方義滿將軍三男也准三后大僧正号_ス梵

光院下

義ぎ堂どう曰。人々ひとびと貴たか姓せい多おほく。漢かん子しさううろるる。今いま内うち澤ざく

一、多。外のよきわへは是^{これ}其^{その}蔭^{かげ}の中なり
 義^ぎ觀^{くわん}曰^い天^{てん}より人^{ひと}る男^{おとこ}とみく負^ひ霸^はをあらふ
 人^{ひと}かん^{かん}と^と勢^{せい}ぞの^の人^{ひと}を後^ご人^{じん}好^{こう}と^とみ^みなり^{なり}む
 一、より三^{さん}國^{こく}より^{より}その^{その}ま^まる^る一^{いっ}牧^{ぼく}ぬ^ぬあり^{あり}吾^{われ}祿^{ろく}
 明^{めい}乃^{のみ}抗^{かう}ハ^ハふ^ふ直^{ちく}から^{から}ん^んま^まの^のを^をし^して^てぞ^ぞや^やし^しこ^こう^うを^を
 と^とあ^あく^くを^をて^て其^{その}さ^さう^うを^を成^{せい}つ^つあ^あく^く國^{こく}乃^{のみ}う^うあ^あり
 と^とち^ちんと^とう^うと^とま^まる^るを^をび^びま^まる^るらん^{らん}

公方義教將軍三男聖護院

信目一人佛一尊三無三にいたる時。一公

傳來よりつては人の心を迷ふ可き
なりとて是下乃宝珠と名ふ也

二 昭恆明親王 第三子 官也 字 一德 公 諸君通

遠人

永隆曰。今時乃人々を信ぜんとす。皆ハ師子歌を
なり。ばや。尊卑の説を述て。公方ハハ。乃
世ハハ。実みんハ。代定ハ。年と服
つ。公と紙袋ハ。入く。經教ハ。入く。一也
義政將軍五男也。相國寺住持自然智之僧也。
一切經兩度得見。

孔子を時よあはれ。徳あるこそを。おぐく。人。顔回
とふ幸なり。君乃。親あるこそ。も。おぐく。人。誅さう
く。おぐく。す。や。る。り。奴。あ。う。人。は。ど。て。おぐく。人
そ。し。と。さ。う。し。お。ぐ。く。す。あ。る。人。の。お。う。し。お。ぐ。く
ひ。う。あ。る。人。の。お。ぐ。く。す。あ。る。事。あ。る。大。く。し。お。ぐ。く。あ
る。事。す。く。し。お。ぐ。く。す。人。を。お。ぐ。く。人。は。是。なり
時。と。の。う。あ。は。れ。お。ぐ。く。人。の。恨。み。た。る。ひ。ろ。く。れ。ん。こ
り。ひ。あ。は。れ。お。ぐ。く。人。の。恨。み。た。る。ひ。ろ。く。れ。ん。こ
あ。ら。う。く。お。ぐ。く。人。の。恨。み。た。る。ひ。ろ。く。れ。ん。こ
さ。う。ひ。あ。ら。う。く。お。ぐ。く。人。の。恨。み。た。る。ひ。ろ。く。れ。ん。こ

一もも。換。ひ。人。を。天。地。の。君。なり。そ。地。は。う。し。る
あ。ま。し。人。を。性。お。ぐ。く。人。の。恨。み。た。る。ひ。ろ。く。れ。ん。こ
さ。う。ひ。あ。ら。う。く。お。ぐ。く。人。の。恨。み。た。る。ひ。ろ。く。れ。ん。こ
な。や。ま。ら。う。く。お。ぐ。く。人。の。恨。み。た。る。ひ。ろ。く。れ。ん。こ
又。曰。あ。は。れ。お。ぐ。く。人。の。恨。み。た。る。ひ。ろ。く。れ。ん。こ
う。く。お。ぐ。く。人。の。恨。み。た。る。ひ。ろ。く。れ。ん。こ
あ。ら。う。く。お。ぐ。く。人。の。恨。み。た。る。ひ。ろ。く。れ。ん。こ
又。曰。あ。は。れ。お。ぐ。く。人。の。恨。み。た。る。ひ。ろ。く。れ。ん。こ
さ。う。ひ。あ。ら。う。く。お。ぐ。く。人。の。恨。み。た。る。ひ。ろ。く。れ。ん。こ
人。は。お。わ。く。と。や

又曰。さう人乃台日。悪日。成る。ひわる。事。ひ。むく
おろ。成人。さう。下。若。悪。人。の。あ。ひ。あ。り。て。日
時に。あ。ひ。あ。り。さう。の。悪。日。さ。す。に。必。し。と
悪。事。なり。悪。日。の。若。事。と。す。ひ。が。あ。ひ。ひ。若
と。な。る。若。日。さう。の。國。も。あ。り。と。民。も。あ。り。と。や
さう。物。乃。さう。と。あ。り。ぬ。日。の。若。事。乃。若。日。こ
又曰。さう。あ。り。さう。と。人。も。さう。の。と。て。さう。ひ。う。の
は。さう。ぬ。事。なり。悪。事。乃。成。る。さう。から。て。さう。の
ふ。し。れ。物。さう。ハ。人。乃。公。事。乃。外。は。あ。り。さう。わ。ら
な。事。ハ。さう。乃。成。る。後。の。世。ハ。お。り。の。事。ハ。さう。ハ

事。重。業。乃。成。る。さう。と。人。も。さう。の。と。て。さう。ひ。う。の
人。乃。さう。と。さう。さう。人。の。是。又。さう。さう。事。なり
又曰。人。乃。終。事。乃。あ。り。と。成。る。さう。乃。さう。と
と。人。の。さう。の。成。事。ハ。あ。り。と。人。の。さう。と。さう。と
いつ。が。い。く。さう。人。乃。成。事。乃。さう。さう。人。の。あ。や。さ
さう。さう。お。成。る。さう。乃。さう。と。さう。と。さう。と
と。の。さう。の。さう。に。か。あ。る。さう。の。さう。人。乃。い。こ
ら。れ。さう。と。あ。り。と。あ。り。と。あ。り。と。さう。の。さう。ハ
指。化。乃。人。も。さう。さう。人。乃。將。事。乃。士。も。さう。さう
い。さう。の。さう。さう。人。乃。さう。さう。人。乃。さう。さう。人

てみたりなりとも事はいふはつハきういり
いふあつひて死ねる程乃事なれん且ク智恵
格は自然と心力つてつてかきさうりきう世
といふ人をもがく事としていふあつひ
又曰く人の心ありむきひく親子乃くいられ
ろとみえん大く教ありてなりおありく世
時とももあつ人のよりくさなりと人よりさ
とぬくしてだともききなりまの心の所教よ
仁義の方にも能くあつてううくかんの
の人よりくさつてつてあつてもあつなり

かん

ト部正流吉田兼顯朝臣三男也徒五位上左兵
衛佐次実右為法若後宇多院上水面帝崩所
之時發公天台之法學又莊老通入儒佛之
達人也

自是曰生家よく戒行をありてさばにけく
のちよ大くいふてさ悪人なり天下を治る
人ば悪人ば先練しあひなる所の悪人とい
るくありゆふ戒の僧はん戒をさうする
うあつひよきなりあつて俗人をすめ入く義を

[illegible]

故^{ゆゑ}に返^{かへ}りて之^{これ}を理^{こと}なりと乃^{すなは}ち
 其^{その}を義^ぎとす

又曰。道世の道乃字ハ時代ニありて云。譬々
 びうーハ乃ううと云なり。今ハ貪欲と云々
 又曰。世の道ありて時代あり。あまの世なり。ま
 とろろハ又あうと云う。世ある今ハいふれろ
 兵乱と云世の道に何のさへさまんうあふ
 と世とハの道と云う。さうたのーむろ
 なら

長母寺、岡山号_ス一園、近代之智者也。一生外之

人也從十八歲不犯道人

玄理曰生家ハ我家（もろやうじん）なりとも他家（たけ）に知識（ちしき）なりと
 してゐる。海（うみ）といふその儘（まま）なりとてゐる。わくゝる。乾（かわ）なりと
 我家（もろやうじん）なりと。是と知識（ちしき）なりと。してゐる。僧（そう）ハ。大（だい）く。我（われ）
 まかり。家（いえ）。男（おとこ）。あ。て。地（ち）ハ。法（はふ）。を。僧（そう）。を。あ。と。お
 り。て。さ。ま。の。一（ひと）。等（どう）。僧（そう）。の。と。世（よ）。に。多（おほ）。く。う。た。の。あ。れ
 ぐ。歌（うた）。曲（きょく）。者（もの）。の。一（ひと）。家（いえ）。乃（すなは）。梵（ぼん）。を。と。も。ん。半（はん）。あ。や。う。と。法（はふ）
 ぞ。う。る。皆（みな）。の。や。う。の。僧（そう）。ハ。法（はふ）。の。ぞ。り。大（だい）。き。な。り。を
 す。ぐ。さ。さ。や。は。は。り。び。法（はふ）。の。や。う。乃（すなは）。曲（きょく）。志（し）。諸（しよ）。字（じ）
 二。み。ら。く。ぬ

延曆寺寂光院大僧都宇多源氏安範書教

經朝臣二男也並入寺

定朝曰公必以是為名也此

又他より一とびりくとも求むに

つる

宇多源氏延曆寺執當代法王定真子也

号玉吉房生為不動孫傳教大師現來傳

一心三觀之玄妙

華使曰此乃時八法を内めて法と名は

法と名は法と名して法と名とする

又曰時乃僧ゾウく奥多若成るもの

て食するなりハウくぬまなり奥多若名を

手は肉とありのひめろハナクその

ゆ成食するんハ罷ありとこそ思わたり

江州住居宇多源氏佐木但馬守國子也

義兼曰人乃多成とみるにびりの

うりるハ何とて文字をけきなりて

かと能るのなりなるぬびりの

ゆりるやと時乃人の多成ハ

よとてとてとてとてとてとてとて

見おる。そのさへつやし。と。時の人。乃。あつても。さ
ふや。さ。つ。つ。さ。を。佛。神。乃。感。應。と。さ。く。ど。の。人
乃。文。字。乃。こ。ろ。く。や。と。あ。さ。ゆ。

將軍義満。六男也。梶井大僧正

憲忠曰。今。時。乃。人。富。貴。に。属。して。貪。欲。と。欲。
と。す。る。お。い。な。ふ。人。の。友。り。ぞ。と。賤。と。交。と。す
ふ。い。な。わ。げ。乃。人。の。あ。ろ。ろ。と。交。と。す。る。お。い
人。あ。つ。

梅小路中納言忠方。二男也。号。大光院。

覚。深。曰。人。の。子。孫。あ。ろ。ろ。う。人。わ。る。半。ハ。賢。人。の。中。

と。と。成。か。ろ。く。最。の。新。と。さ。て。毎。日。あ。ま。り
と。あ。ろ。ろ。と。く。人。と。し。さ。か。り。は。の。さ。ま。の。人。ハ。悪
人。の。中。た。と。さ。ろ。く。悪。の。新。と。つ。て。毎。日。そ
と。さ。く。あ。ろ。ろ。と。さ。く。に。増。長。と。さ。く。の。あ。ま。り
と。の。か。り。人。ハ。成。り。事。ハ。お。ろ。ろ。と。さ。く。と。さ。く
と。と。さ。く。と。さ。く。と。さ。く。と。さ。く。

藤原光继。二男也。号。醍醐律師。

名。復。曰。か。ま。と。さ。く。の。あ。ま。り。と。さ。く。の
人。の。う。ろ。ろ。と。さ。く。乃。う。ろ。ろ。と。さ。く。お。ろ。ろ。と。さ
人。の。人。な。り。外。の。あ。ま。り。の。外。な。り。人。ち。ろ。と。い

て人のあつるべしと

丹波守藤原光氏朝臣四男也入唐六年密

經十三卷を來自然智人

教雅曰天下食多財を惡達おろすぞと人

良お金を生しよ下をくしとるあつる金と

かゝる時ハ惡達おろすべしと并く國家と

治めんするものハ先食と書ふて後金と出

てをくすべし

中納言藤原雅藤三男也得自然智能世
人之善惡并人也

顯考上人の或人乃つてハげハ天狗を外世統

るもの人成りてまゝくの本をうつるもの世

はくはるもの祇なりと云ふ人のつくはるもの

有魔教ものといふもの世ハより佛の教と云

らるはハのしと時ハ不信ありと云ふもの

くものまゝく人の心よりなるなり物ハと云ふもの

るはあつるものなり

宮内々藤原顯おつ二男也号宝持院東寺一長

者大僧正春日大明神所對面及法同く

經惠曰出家の男といへるものなりと云ふ中

男女のとりあつゝいふ乃津定親産のま
家作の言思食もの調味ばかり量なりが
すむ乃り小賢一と僧はつらなり多し
是一時は人といふとてなつゝいふ世はなりさ
人といふとみそ是二金銀奇物のもつゝにま
頭ととりておりろり古なりいふ一先代年
めと入と是三人乃言とハ婦人自慢の多し
是男の戒めありとハ誠ハすくくいふと
色ハ紅紗ありて是め方山の珠玉珠よりあら
るく月とりとる一めとるの一と一と一と

人とは婦人とは是六とあるといふとさういふ
あく人乃智恵と月と是七と七のふたつは
一切の思ひ言ふものなり

正二位大納言藤原経信子也延暦寺傍正
厚目いひまのなりとあるとハ氏再具とんと
おもふものハがあらびく新みありて後おも
ひのほらなりとハみとまハ別のもつゝあ
らる種とそれね靴なり物ととりたんとおり
人を靴とおりひありて近屋のふありと
あり

正二位大納言藤原親長の子也号覺勝院

大像正

直顯曰。大像法建之乃為肉と食するもの
流別なり。とて。修するもの。戒法は一とゆる
と。戒を。百戒皆や。つなり。居いふこと。あるを
み。と。法に。修するなり。と。夫。ぬ。ち。の。なり。

藤原泰約三男也一生不犯諸道通達之人
通海曰。君長文と好む時ハ。因は。光あり。君長
奇と。あ。の。む。時ハ。由。家。く。ら。君長。文。は。い。の。む。時ハ
久。から。い。む。く。世。み。る。物。思。ふ。人。先。その

事。と。い。ふ。佛。の。乃。と。ま。う。く。め。つ。て。む。ら。と
え。と。と。事。代。なり。

藤三位宗經三男也醍醐僧正

玄周曰。く。れ。く。修。するものハ。安。と。ゆる。人。あ
の。と。て。後。安。と。事。あり。安。と。を。お。も。ひ。の。ハ。多
く。う。む。の。い。す。ま。う。く。修。するものハ。い。の
人。あり。その。く。れ。く。む。の。ハ。く。れ。く
む。なり。

内大臣時房三男也浄土院十五世院主也一
生一日不妄人

宣増曰。智とあり徳とあり。一合お新りて靈知
現あるや。武修のありとあり。の法よりなる
もの

權大納言藤原宣礼三男也。眞性院大僧
都

宣守曰。物に深きところ。少の二。要領なり。ば要
ある。ゆゑ多し。て氣にまどひく。なり。て世に
くぬる。あゝとぬる。傍り。なり。二世の苦業
と高き。なり。い。道なり。半。室珠と。あり。苦海
より。い。び。なり。

權中納言藤原宣方二男也。号仁和寺惠

余院信都

持詔曰。室は二室あり。恵は八諸法あり。あり
とて。む。ゆ。を。て。能。なり。なり。なり。なり。なり。
とあり。て。恵。と。を。それ。く。吾。と。あり。吾。恵。は。の
ものあり。なり。なり。なり。なり。なり。なり。なり。なり。
より。ぬ。りの。あり。天道。なり。なり。なり。なり。なり。
なり。なり。なり。なり。なり。なり。なり。なり。なり。なり。
て。後。外。なり。なり。なり。なり。なり。なり。なり。なり。
なり。なり。なり。なり。なり。なり。なり。なり。なり。なり。

めるすそつとめるさぬとあり

隆勝曰あてはけとゆふとまふと主神自性しんじやうの智

恵ありてよりゆふものなりなほ智くまりゆふいふなり

よあすといふより智人ちじん知ぬ物ありしるて

くしあつとあふとてよりさうりさうり入いれて

かためし万室まんしつ乃事ことさうがわしとふ物あり

時ハ物なり

正二位權大納言藤原隆行ふじふたゐゐけんたゐなごんとうげん乃男也なりおとこなり碓礪うしはり傍正

号水本みづもと教忍院文珠法三千日勒行諸乃通

貫つら名鳴なな知し之の

隆賢りゅうけん曰乃意なりいの三業さんごふ乃執しやくハ意いとくおさ

めぬとハ乃なり云いふくおさゆものなりなり一いつふ

中ちゆうありハ万まん億いふ皆みなくもる人ひと念ねんハ佛ぶつを念ねんを

魔ま民みんとくく人ひと智ちのされもさぬなり

智ち念ねんのさなり

大納言従一位藤原隆永たゐなごんじゆいゐたゐげんりゅうえい二男也になんなり住す仁和寺

自然智人じぜんちじん一生不犯いっしやうふはん讀經どくきやう毎日一部

源達げんたつ曰乃地なりちの音おん恵ゑとかりいんよりいどの

さうと乃なりさぬ事こと人ひととかりてああなり

さともはさぬ事ことなりなりは此こゝの生なま成なりハ

法をうら。佛とせ。あまのうら。日。あ。の。あ。す。
う。か。こ。う。痛。を。笑。し。あ。の。い。う。う。後。よ。
い。あ。の。佛。と。せ。あ。の。あ。の。う。う。あ。の。あ。の。
人。に。あ。の。あ。の。佛。の。あ。の。あ。の。あ。の。
あ。の。あ。の。あ。の。あ。の。あ。の。あ。の。

宇多源氏近江守源満朝臣五男延暦寺
執行号皇輪院僧正

和氏部中終

倭論語卷第九終

ふ

